

地域の将来像：住んでいる人々が誇れる郷 明日の小山田の創造

コミュニティだより

2020.7.15

第51号

明日の小山田を考える会の目的は、住んで良かった・ずっと住み続けたい・住み良い地域を創ることです。そのためには、地域の皆さんの積極的な関わりが必要です。



ピンピンコロリ（ぽっくり神社、お寺）

明日の小山田を考える会

会長 菊池 保守

だいぶ前の話になるが、高齢者がどんな過ごし方をしたいのか、あるコンサルが調査したところ、大部分のお年寄り、いつまでも丈夫で長生きをしたい、死ぬときは、ぽっくり逝きたい。という人が一番多かった、という報告があったことを記憶している。次いで、気の合う仲間とおしゃべりをしたい、元気で働いて孫にお小遣いを上げたい。という順番であったと思う。

話は変わるが、つい最近の斎場での話、死ぬときはぽっくり逝きたいが、ぽっくり神社はどこかにあるのだろうか？というような話になった。そこで調べてみたら、ぽっくり神社ではなくて、ぽっくり寺やぽっくり観音、ぽっくり地蔵が存在する。一番有名なものが、奈良県にある吉田寺（きちでんじ）がある。そのほかには、埼玉県日高市にある保寿院石屋山常満寺、福島県にある会津ころり三観音、神奈川県横浜市にある福泉寺、長野県佐久市にあるぴんころ地蔵尊などがあるが、残念ながら、当職の調査ではぽっくり神社は存在しなかった。

私の感覚では、願い事は神社、弔いや先祖供養はお寺、というように区別して理解していたので、ぽっくり神社が存在しないことがなんとも不思議である。そこで、遅ればせながら、神社とお寺の違いについて調べてみることにした。

神社は主に穢（けが）れを清めるためのお祓いと現生での幸せを願うこと、なのに対し、お寺は、死後の極楽浄土や現生での幸せを願うこと。なようである。現生での幸せを願うという点ではどちらも同じ。また、神社には経典は存在しないがお寺には経典がある。しかしその意味について一般信者に詳しく教える機会はないに等しいし、そこが、西洋の宗教との大きな違いといえる。

ということで、ぽっくり神社なるものも存在してもいいと思うのだが不思議と見当たらない。神社もお寺も地域にはなくてはならない存在である。しかし、人口の減少とともにその維持が地域住民の大きな負担となっているのも事実である。お寺も神社も宗教法人であり、税金が免除になっている。であれば、せめて、地域住民に寄り添う宗教法人でありたいものである。



明日の小山田を考える会専門部を紹介します

専門部の新体制が下記のとおりとなりましたのでご紹介します。今回の改選はコロナウイルス感染症拡大防止の観点から会議が開催できず、企画建設部長を除く4名の部長は再任となりました。

	総務部	企画建設部	生活環境福祉部	産業振興部	教育振興部
部長	菊池 正実	菊池 忍	吉田 正人	浅沼 英喜	浅沼 直行
副部長	菊池 康一	下坂 幸生	菅原 友子	吉田 正志	小田 拓美
	吉田 真澄	吉田 幸雄	千葉 良一	下坂 章治	高橋 正彦

保育園児と一緒に花苗の植え付け作業を行いました



5月14日(木)振興センター美化事業として、小山田保育園児と一緒に、プランターにマリーゴールドの花苗の植え付け作業を行いました。今年はコロナウイルス感染症拡大防止の観点から、マスクの着用と向かい合っの作業は中止と致しましたが、子供たちは「花苗を植えるのが楽しかった。」と笑顔で話してくれました。

プランターは振興センター入口と玄関前に設置しましたのでセンターにいらした際はご覧ください。

刈払機取扱作業者安全衛生教育講習会を開催しました



6月25日(木)草刈り作業中の事故防止等につなげるため、NPO法人わが流域環境ネットの佐井氏を講師に招き、「刈払機取扱作業者安全衛生教育」の講習会を開催しました。20名が受講し、刈払機に関する知識・使用に関する知識・点検整備・振動障害と予防・関係法令の学科と旧小山田小学校グラウンドで実際に刈払機を使用しての実技を学びました。参加

者からは「日常行っている作業だが、改めてより安全な作業に努めたい。」と受講後の感想を述べていました。後日、受講者には労働安全衛生法に基づく修了証が交付されました。



ママカフェ・rainbow「ヨガ教室」を開催しました



令和2年7月2日撮影

7月2日(木)大迫町の佐々木孝子氏をお招きし、ママカフェrainbow「ヨガ教室」を開催しました。今年はコロナウイルス感染症拡大防止の観点から、振興センターの利用が平日の日中のみとなっており、平日開催にもかかわらず皆様の参加を頂きました。ヨガは呼吸・姿勢・瞑想を組み合わせ、心身の緊張をほぐし、心の安定と安らぎを得る事ができると言われています。

【令和2年度開催日:7月2日(木)・9日(木)・16日(木)】

地域の話題



令和2年6月5日撮影

自然農法に取り組んでいる南川目の小田肇さんが所有する4枚の水田に、5月末かわいらしい姿のアイガモの幼鳥約100羽が放され、田んぼを縦横無尽に泳ぎ回っています。「アイガモが害虫や雑草を食べてくれることを期待しています」と話されていました。

令和2年6月末現在

小山田の人口	世帯数	男(人)	女(人)	計(人)	比較(5月末)
第1行政区	62	99	81	180	—
第2行政区	149	212	211	423	1人減
第3行政区	159	228	242	470	—
第4行政区	111	189	182	371	1人増
計	481	728	716	1,444	—

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています

発行:明日の小山田を考える会 電話 0198-42-2941

ホームページ: <http://www.asuno-oyamada.jp/>

ホームページもご覧ください。

メールアドレス: asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp

～編集後記～
4月からお世話になっている菊池一男です。コミュニティだよりを担当しております。宜しくをお願いします。